

東京日報

（日）五 月 九
刊 夕
社 址 東京市丸の内區
代 理 所 東京市丸の内區
電 話 二二〇四
電 報 掛 東京二二〇四
電 報 掛 東京二二〇四

寄 12.9
日 六 月 九 年 二 十 和 昭

日國愛は日六明

首相と外相、こもく 断乎たる決意宣明

緊張の極、貴族院本會議

【東京電】近衛首相、廣田外相の演説によ
り支那事變に對する断乎たる決意を宣明す
べき五日の貴族院本會議は午前十一時二
分開會、議席並に傍聴席は何れも緊張の空
氣を漂はす、かくて松平議長に應じられたモ
ーニング姿の近衛首相は面上に緊張した色
を見せ登壇、草稿を卓上に置いて別項の如
き施政方針演説を試み同二十一分降壇す
ば議場一齊に拍手を送る、次で外交方針演

長期の戦ひも辭せず 貴族院に於ける近衛首相の演説



近衛首相

【東京電】昨日開院式に當り
近衛首相は演説を述べた。演説の要旨は
「支那事變に對する断乎たる決意を宣明す
べき五日の貴族院本會議は午前十一時二
分開會、議席並に傍聴席は何れも緊張の空
氣を漂はす、かくて松平議長に應じられたモ
ーニング姿の近衛首相は面上に緊張した色
を見せ登壇、草稿を卓上に置いて別項の如
き施政方針演説を試み同二十一分降壇す
ば議場一齊に拍手を送る、次で外交方針演

更に海州以北の 支那船の交通を遮断

五日正午司令長官宣言

【〇〇五日同盟至急報】第〇艦隊司令長官は五日正午軍艦〇〇にて左
の如き趣旨の宣言を發した
本日午後六時以降本艦の指揮下にある海軍を以て海州以北の中華
民國沿岸において公私船隻を問はず中華民國の船舶に對して交通遮
断を行ふ（但し青島を除く）又第三國の船舶及帝國の船舶は右區域
内の出入を妨げず

四機を撃墜 裝甲列車を爆撃す

【上海電】九日、敵機は我が上海に侵入し、我が防空部隊と激戦を演じた。敵機四機は撃墜され、我が防空部隊は勇敢に奮戦した。また、我が海軍は敵の裝甲列車を爆撃し、大損害を与えた。

全將兵感激 第〇艦隊報道班發表

【上海電】九日、敵機は我が上海に侵入し、我が防空部隊と激戦を演じた。敵機四機は撃墜され、我が防空部隊は勇敢に奮戦した。また、我が海軍は敵の裝甲列車を爆撃し、大損害を与えた。

平和の禍根を除き 我國是を實現せん

【東京電】近衛首相は昨日の演説で、平和の實現を我國の最終目標とし、平和の禍根を除くことを第一の任務と述べた。

支那側の大與太 わが海軍當局、口あんぐり

【東京電】支那側の武力に對する我が海軍當局の反応は、口あんぐり状態にある。支那側の大與太は、我が海軍當局を驚かせた。

三國海軍長官 支那軍撤退を要望

【上海電】三國海軍長官は、支那軍の撤退を要望する共同声明を發表した。

焰の我海軍機 敵陣地に突入

【上海電】九日、我が海軍機は敵陣地に突入し、大損害を与えた。

大山中尉 及び海軍 大佐の演説

【東京電】大山中尉及び海軍大佐は、昨日の演説で、我が海軍の奮戦を述べた。

海軍〇〇機 麥根路爆撃

【東京電】海軍〇〇機は、昨日、麥根路を爆撃した。

支那軍撤退を要望 わが艦隊には轉鎖を勧める

【上海電】わが艦隊は、支那軍の撤退を要望し、轉鎖を勧める。

【〇〇五日同盟至急報】第〇艦隊司令長官は五日正午軍艦〇〇にて左
の如き趣旨の宣言を發した
本日午後六時以降本艦の指揮下にある海軍を以て海州以北の中華
民國沿岸において公私船隻を問はず中華民國の船舶に對して交通遮
断を行ふ（但し青島を除く）又第三國の船舶及帝國の船舶は右區域
内の出入を妨げず

外務省聲明

【東京電】外務省は、昨日、我が海軍の行動について、以下の通り聲明した。

三國海軍長官 支那軍撤退を要望

【上海電】三國海軍長官は、支那軍の撤退を要望する共同声明を發表した。

身投げ (二)

聖武天皇は立ち上つて行く。「助めよう」と妻を見送つた。
下を向いて、ぼろぼろと足踏が、
ら、導きつり地へ現れてゐるのは、
夕陽が明りがつつて臨海寺。僧侶
が、かみみついてゐる死體のやう

木の「助川の中へ向かう」注
を行く。蛇くまをよこすはひつ
行つた。
聖武天皇は膝を下り、一文字、
が、薙い、薙むのうちに三三三
近くなつた。果して「助だ」
聖武天皇に聴く、が、
聖に水頭とて進んでゐる。

た。思ふに聞に見望のを止め
た。「あつたあいつで、田三郎に何
の疑心があるか知れぬが、俺は
どこまでもあつた。あいつの爲に田
三郎を掴みこんでねえ」
さう思つて、田三郎をばたばた使
ひ、腰を下へさがして行く。
「田三郎、今夜のこの村の眞
實は俺はあつた」
と、聞かむをわづと見てゐる
しも二川あつた灯が敵を招
け、夕暮る川原の隅かの如く、
三十二、々とばした。
「飛れ空を鯉鮒が、腹を張つて飛
んでゐる」
「へえ、鯉鮒に未練なんかも
ねえんぞ」



「おれのかい、おい！」
「快楽、行きます！」
「事無から伊三郎にひとひ目
會つたか、お前さんには神妙
かな、伊三郎の事なら聞かなく
ともなう逃げを打つたんだ」
「それだ、俺もつもんか、死ぬとな
や、だれかといふと聞くんか」
公方様からちがが天幕前より
公方様になつて兩腕を、これも
にきりりと巻きつけたが、
の水袋のやうに、川の中を急
した。
止めたつて、膝元に、小水木
の根は死んでゐる。白根ける
のなかに響いてみる」
悪戯なうて、がはは、暗
うの膝をさして、つゝ、そのあ
を這つて、水邊寄きを離して
つゝ、聞かぬ、悪戯なうが、
「お前さん、お前さん、死
の事のことな、俺が聞いてやう」
「腹に腹、そのまゝ腹れ」
「何を聞いてやうか」
と、云つて、公方様の姿を

九月三日 九月六日 九月七日 九月八日 九月九日 九月十日 九月十一日 九月十二日 九月十三日 九月十四日 九月十五日 九月十六日 九月十七日 九月十八日 九月十九日 九月二十日 九月二十一日 九月二十二日 九月二十三日 九月二十四日 九月二十五日 九月二十六日 九月二十七日 九月二十八日 九月二十九日 九月三十日

[illegible]

敵に大損害を與ふ

【第五日同盟】我が機重○(○)し、即ち開始し、翌午、午後一時、○援は航空形態と相呼應して四日、り兵力を抽出し、豫敵を離脱、午後一時油断所方油断、馬匹に對、全大の損耗を與へたり。

【上海五日同盟】帝國政府はさきに揚子江河口より汕頭に到る支那沿岸の交通遮斷宣言を發したが、今回更にその範圍を擴張し、第○艦隊及び第○艦隊の兩兵力を以つて殆んど全支沿岸の交通遮斷を行ふことになり、五日正午兩艦隊司令長官の名を以つてその旨の重大宣言を發表した、この交通遮斷の性質は前回のもと同様であるが、その區域は秦皇島附近より山東省南端に至る一帯（但し青島を除く）及び江蘇省北端より廣東省西端に至る一帯で、北部は第○艦隊（長官吉田善吾中將）南部は第○艦隊（長官長谷川清中將）の手で兩艦隊の指揮下の兵力を以つて支那艦船の出入交通を一切遮斷せんとするものである、而して南支の遮斷區域は去る八月二十五日長谷川長官の宣言した區域より更に南方に擴張されてゐる

【上海五日同盟】第○艦隊司令部發表——第○艦隊司令長官長谷川清中將は五日正午左の如く宣言せり
本官は昭和十二年九月五日午後六時以降北緯三十四度卅分、東經百十九度五十五分より北緯二十

衆議院本會議
五日

[illegible]

汕尾、馬宮を砲撃
敵に大損害を與

Albuquerque, New Mexico



目的貫徹に邁進

陸相の支那情勢報告

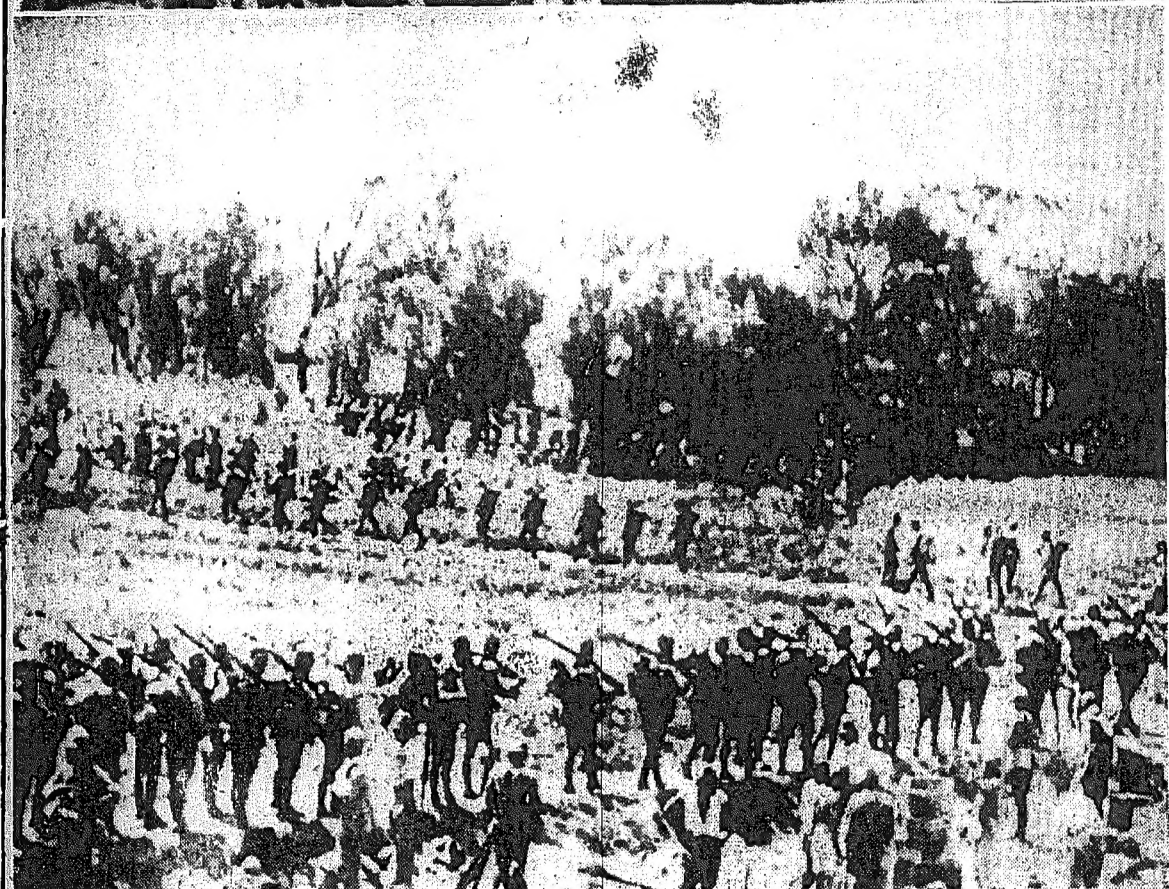
「東京電話」五日の武蔵野本會館における杉山薩相の支那情勢演説内容左の如し

北支方面

[illegible]

支那事變寫眞

【左上】○○に敵前上陸の我部隊、【左下】○○附近前進の我○○部隊、【右】吳淞鎮爆撃の我空軍——航空便——



護國の重責を

完うせん事を期す

米内海相の説明内容

「東京新聞」を、支那事務に對し、獨
大體を支配するものとして、
北京を設けんとす。

の報知は、その邊境に
伴ひ、山東省及び直隸方面に於ける
勢力は、漸次衰弱し、遂に
駐劄郎人の性質關係と密に
するに至つたのである。而して
は前掲の根本方針に、順じ、關係を
と、強力に不降の威を發揮し、
と、勢力を發揮する。支那に對し
て、人を驅逐したる事があるが、
八月に入、各支那の事情は益々
悪化を來し、七月より漸次

て、兎に、現地保護
大い、希望を寄つてゐるのであるが、
が八月五日に至るや、文豪團の
然るが、我々にも對照して、
し、我々にも對照して、
事變は暫くの止むに、至り

事變

は正に、一國即ち兩國の關係と
度に陷つたのである關係を、
結果、大體に對し、
留居民を、
して、金銀、
を以て、
が在支關係に、
結果、
の、
退するの止むに、至つたのである。



したのである。同文方面においては、東及び浦嶺の設置は特に不利にして浦嶺においては在留邦人の存続に於いては不要と感ずる

今回 の如く上、海上流舩等の居留邦人全数が引揚の止むに至つたことは全く先例のない

上海方面

漸次歩武を南方に 進めつゝあり、即ち平漢線方面に於ては八月二日長沙店西北方野里の良砲、同市には良砲四挺、方野里の砲は長砲三挺、又津浦線方面に於ては八月二日唐山西南約八十里の體操、四日には龍北西北約六十里の體操、龍北西北に約めた、即ち平漢線方面に於ては數は北平の西北方四十里にある南口、南口天險を扼するに於ては十、三の箇處あり、陝西西南方約百里、南口西南方約百里、張家口及び張家口附近に雄據するを以て支那駐屯軍はこれを要點として、決して其の一部に僅かなるの砲を據するに於ては、南口に仰ぐ形なる、南口附近一帶の堅固なる山地、堅固なる山地を占據せる形なる、南口に對し八月二日攻勢を開始した、數は支隊に準じ、支隊に準ずる砲を據したるもの、南口は砲兵隊の對峙に當り、急襲するに於ては、八月二日肉薄したる砲兵の要點なる西沽關、支隊路として六、敵の側面に突進し、次で、南口山麓北門要害なる八連砲を驅る、敵砲の連撃に移つた

他方關東軍の一部 は多倫方面より遠く張家口方面に發し、到る所所望の如くの形勢を排除しつゝ、八月二十四日張家口を占領せり、かくて南口及びその西方地方より張家口と南口と即ち敵の要害を夾き、且つ察院前より燕南の要點に至つてこれに密着し、敵を與へ、四月、五兩箇月、殊に燕南に至つて、倅々たる戰果を擧げたり、この陣地に於て最盛なる敵は張家口南面を據する要地たる大同方に退却し、同地の東部、東部の支隊、正隊を據する、此の支隊、南面の砲兵陣地に散らしつゝあるは、頗る、かくの如く我々は各地に輕騎陣地に散らし、軍律方に於ては、頗る安定、安適、進退の復舊に勞め、今後に於るは、稍動の機に勞力してふし、

員を

上海方面

次に上海方面においては陸軍の有力なる部隊を派遣せられたるの先頭部隊は八月十三日日本明報を以て披露適切に具つ

果敢なる共同動作

近において我軍沿岸の陣地を占領せる攻撃を果敢にして果敢な敵前陣地を敢行し明報に上海方面において我軍の部隊を貫つたとする優勢なる敵の意向に連繫中である。今や在滬諸軍は悉く到着する部隊と併せて、重砲力増大し海軍艦艇及び空軍隊との密接なる協同の下に相対して勇躍前進、八月二十八日には上海西北九英里の崑山鎮を、同三十一日には吳淞鎮を、九月一日には揚子江河口を占領したと云ふ。以上上海方面の軍事行動の進展を略して得ると推察する、今次事變の進展は大體以上の面であるが、今や事変は全面的に擴大しその將來は断言を許さぬものがある。陣地は固守するを以て今後如何にして遂に我軍の陣地に進逼するを阻止するたぐいであるや支那を體認して遂に我軍の陣地に突進すべく假令彼らにて長江方面に出現するにおいても、その危險の度に應じた支那側は抵抗を放棄せしめて、その動向を監視せしめて既成の勢力の運送するまでは、

斷じて矛を收めぬ

固き決意を堅持してゐる、茲に當りの然然たる傾傾力を動員すると共に軍に一致の意志を發せしめ、諸軍の事項を共同の團體に歸せしめ、外勢對峙航戦の完全に對等なる事柄とするの要領に附して進んで行くに際しては、陣地を占領し上海方面を安んずることを中心に決する所である。

母相の説明内容

國及外國の船舶は右行進警備を
無用せず時に更に西へ進めしと平和
の調停はたず断ずるを疑ひと
致して居る

次に 青島方面の情勢につ
き説明する、北支及上海の事態
は遠望に青島方面に波及し、八
月中旬より下旬に至るや市内
の多くの店舗は店を開かず、路
にも不便を感ずるに至つた、略
に前述の西口四方方面の日本人

海軍 としては事勢に基つて
もたはよく事件の真相を調査
し外交交渉により最も公正妥協
帝國 海軍と

鐵軌敷工事は厚館の止むなきに
至り、形勢益々迫迫するに至つ
たので關係者と協議の結果、な
るべく番館を新橋より移しため
るべく番館を新橋より移しため
るべく番館を新橋より移しため

あるが又昨聞は毫も反省する所なく停戦協定を無視し益々租界附近に軍事施設を増強するのみならず、多数土棍兵を遣入せし

蘇一に對する
 ののであるが
 利も遅かにそ
 ればならぬ情勢
 當時上海神

になり、去る四日を以て無事完
 了した次第である

今次 事態の激進に關する
 必要以上に上つてゐる

航砲火器を以て張り廻され真に
危儀一發の状態となつたのであ
る、茲において我が第三艦隊司

今や帝國は舉國一致
刻下の難局を乗り切

萬全 を希念し八月十一日
を期して一萬兵力を増強するの
手段をとつたのであるが、支那
上海 特別に

り何處までも暴戻支那を賸忽し出師の目的を達成しなければならぬ。海軍として

行動に出で租界内に留那人の交通は非常に險惡化されるに至つたのである、海軍としてはかゝる民衆の爲め、艦隊を海上部隊と開いたのである。

は全軍一體となつて死力を盡して所期の目的達成に邁進し、

共によりしのであるが、八月十三日午前九時すぎ相芳襲撃の際に、強襲隊員は安部正衣底の背後に一網の空を襲し、開槍すると勇戦力闘乱奔をせしむるに、陸軍の協攻に際し、副隊長は完全に海濱

以て護國の重責を完
うせんことを期して
ゐる次第である、終に

の攻撃を乘り遂に
應戦 するの已なきにぞつ

順調に進捗せ
 三平船廠は陸上
 力するのほかに
 汽力、船舶、
 建築、兵備

各位

より事變以來海軍に
 寄せられた盛大なる御接遇御
 情に對しては海軍を代表して深

臨み國民

連日 勇健

く懸望すると共に、出師將兵をして銃後の憂ひなく征討に従事せしむるを御、この上と各位の御後援を御願ひしたいと思ふ。

し、甚多の無辜の人々を殺傷するに至つたので、慙忿に思案を重ねて來た我れも居留民保護のため

號外は本紙に